

Project 17	地域協働専攻 地域政策グループ
	『財政教育プログラム』協働推進プロジェクト with 函館財務事務所

メンバー	[学 生] 上村 豪 / 花田 莉乃亜 / 石澤 優真 / 柿崎 拓夢 / 高橋 瑠菜 / 伊藤 颯汰 / 菊地 卓斗
	[担当教員] 奥平 理

【背景】

財務省函館財務事務所から、これまで取り組んできた「財政教育プログラム」をより効果的で、よりよい授業とするための教材や授業の進め方、グループワークの方法などを検討するため、協働できないかとの依頼があり、このプロジェクトがスタートした。

【目的】

若年層に日本の財政に興味を持ってもらい、日本の将来について考えてもらう。

【概要】

文献調査等を含む協働作業によって、函館財務事務所の「財政教育プログラム」の問題点を洗い出すことからはじめた。そして、函館財務事務所の協力のもと、学生をグループ分けして、グループワークを行い、相互に討論することを通して「財政教育プログラム」の問題点を特定するとともに、それを解決するための具体的な内容を構想した。本プロジェクトは函館財務事務所や本通中学校と連携しながら1年間をかけて進められた。

※「地域における活動については、事前及び最中、事後に教員や函館財務事務所による入念な指導を受ける。最終的には12月の本通中学校での「財政教育プログラム」実施までにプログラムの刷新を図るものである(シラバスより)。」

【プロセスと成果】

前期では昨年の「財政教育プログラム」での模擬授業を受け、分析と解析、問題点の抽出を行った。その後、アイデアを出し合い、問題改善に向けた授業づくりを行った。また、中間発表会に向けての総括と反省、課題の洗い出し作業を行った。

後期では前期の活動の反省を行い、グループワークでの議題(模擬選挙)を設定し、模擬選挙用に架空の政党を作成、それぞれにマニフェストを設定した。その後、マニフェストの内容をブラッシュアップし、当日の授業本番に向けて内容全体の調整を行った。最終的に本通中学校で授業を行い、実施内容の振り返りと反省を行った。そして、成果報告会に向けての総括と反省、課題の洗い出し作業を行った。



【グループワークの様子】



【当日の授業の様子】

【総括と反省・今後の課題】

前期では前半の授業スライドやどのように授業を行っていくかなどの大まかな枠は決定したが、まだ発表の練習をしていなかったため細かい修正ができておらず、グループワークに向けた作業も足りなかった。後期に向けて、授業スライドの細かい修正、グループワークに向けた授業構成要素を考えることが課題として挙げられた。

後期では、当日の授業の1回目、2回目を通して内容、時間配分ともに同水準の授業を行うことができた。また、グループワークにおいて、生徒の間で活発な討論が行われ、「選挙の大切さを学ぶ」というグループワークの目的が達成されたと思われる。しかし、授業を受けた生徒から「財政についてよく分からなかった」という意見が出たことや、グループワークの際に生徒間で活発な討論が行われていた際に大学生が介入することができなかった部分があった。そのため、今後の課題として授業を行う側の技術の向上やより分かりやすい授業資料の作成、グループワークが生徒の間で活発な時に大学生が介入して相互に展開できる工夫などが挙げられた。

【地域からの評価】

「財政教育プログラム」の実践後、生徒からの反応

- ・これから高齢者が増えて年金、医療や介護にかかる費用が増えて多くの税金が必要となるので、限られた予算を上手く使っていくにはしっかりと計画を立てて使うべきだと思いました。
- ・必要とされているところにお金が行き渡るよう、税金の使い方について考えるべきだと思いました。
- ・政治に参加するということは、1票がすごく大事になると思いました。
- ・大きな政府と小さな政府に分かれて、話し合うときにそれぞれにメリット、デメリットがあり、それを配慮して考えるのが難しかったです。
- ・大きな政府と小さな政府にはどちらもメリットとデメリットがあって、しっかり考えて投票することが大切だと思いました。18歳になったら絶対に選挙に行こうと思いました。

などといった感想、意見があった。

【年間スケジュール】

■前期

- 第1回 本プロジェクトの概要説明
- 第2回 グループワーク
- 第3-4回 前年度「財政教育プログラム」の分析、解析、問題点抽出
- 第5-7回 授業計画案作成
- 第8-12回 「財政教育プログラム」プレゼンテーション作成
- 第13-15回 プロジェクト成果・課題中間発表会準備、実施

■後期

- 第1回 前期の反省、後期に向けての整理
- 第2-6回 授業資料の改善、グループワーク用の資料作成
- 第7-8回 読み原稿作成
- 第9-10回 リハーサル
- 第11回 「財政教育プログラム」実践
- 第12回 振り返り
- 第13-15回 プロジェクト成果発表会準備、実施

